

合併記念事業

伊能歌舞伎公演



菅原伝授手習鑑「寺子屋の場」

伊能歌舞伎は、伊能地区にある大須賀大神の春の例大祭の奉納芝居として、江戸時代から行われてきました。「イノーノシバヤ」として親しまれてきたこの農村歌舞伎は昭和36年には、県の無形民俗文化財に指定されましたが、娯楽の多様化、高度経済成長による時代の流れに加え、火災による衣装の消失などで、昭和40年の公演を最後に歌舞伎の上演は途絶え、県の文化財の指定も解除されました(現在は市指定文化財)。

しかし、伊能地区の人たちの復活を願う熱意と伝統文化育成という旧大栄町の施策を背景に、平成11年に復活公演を果たし、毎年、県内外で上演されてきました。

ことし上演するのは三番叟、今回が初めての上演となる増補菅原伝授手習鑑「松王下屋敷」、平成11年の復活公演で演じられた菅原伝授手習鑑「寺子屋の場」。中でも、複雑に絡み合う心理が見物の「寺子屋の場」は、総勢24人が出演し、小学生7人も出演します。



本年1月に国際文化会館でも上演された三番叟



複雑に絡み合う心理を巧みに演じる

演目 三番叟

増補菅原伝授手習鑑「松王下屋敷」
菅原伝授手習鑑「寺子屋の場」

日時 11月19日(日)午前10時30分～午後3時
会場 大栄公民館ホール(開場10時)
入場料 無料

※全席指定のため、座席券が必要です。座席券は大栄公民館・生涯学習課(市役所5階)・下総支所総務課で10月17日(火)午前9時から24日(火)までの間に配布します。(1人5枚まで)。当日は昼食を用意してください。くわしくは生涯学習課(☎20-11583)へ。